

JACC 比較文化会報

本部事務局：〒574-8530 大阪府大東市中垣内3丁目1-1

大阪産業大学 14号館 藤岡克則研究室内

会長室：〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1 高知大学人文学部

奥村訓代研究室内

学会HP：<http://www.hikakubunka.jp/>

《巻頭言》 会長就任の挨拶

日本比較文化学会 会長 奥村 訓代

皆様のご協力のお蔭をもちまして無事1期目を終え、この6月から会長2期目を拝命しております。本日は、2期目にして初めて見えてきた会長の仕事を中心にお話し、できれば任期中の抱負などを述べたいと思います。

今さらながら驚かされるのは、会長には「あて職」やノルマが沢山あるということです。大きくは、「メール処理」と「学会運営」（年中行事）の2項目に集約されます。

1：メール処理の問題

①会員の動向に関する入退会の希望・手続き・学会事務委託会社のあゆみコーポレーション、事務局との遣り取りメールの全ての転送メール、②その他、HPや会員の質問、クレーム、不都合等の処理全般の転送メール、③メール理事会の開催（それに伴う事務局との準備・折衝メールの遣り取り）と、1日の学会関連メール数は、20通をくだらない。問題発生時には30～40通になってしまうのは容易に想像して頂けるでしょう。

2：学会運営（年中行事）

①海外の関連学会での交流と親睦深めるための相互訪問とご挨拶（スピーチ）

4月：韓国連合学会参加（挨拶）

5月：台湾村上春樹国際研究所国際大会参加（挨拶）

日本比較文化学会開催（理事会、総会等）

10月：韓国日本文化学会参加（挨拶）

12月：台湾日本語文学会参加（挨拶）

②全国大会での理事会、総会等の運営

③その他、事務局との管理運営体制の強化。特に事務局長、編集委員長、会計、理事とは可能な限りメールおよび電話連絡を取り合う必要があります。

3：上記1・2を踏まえ、今回は以下の目標を掲げています。

①科研等の外部資金に学会メンバーでプロジェクトを作成し、アプライし成果を上げる。

②アジア以外の海外関連学会と提携を結び、英語発表部会等の充実を図る。

③会員増加、学会誌の充実等、学会の基礎体力の向上と発展に努める。

④そして国際大会（国際学会）に相応しい、内容の充実を図りたいと思います。

以上、会長としての日常茶飯事の一端をお話しし、2期目の抱負およびご挨拶とさせていただきます。皆様の、より一層のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

《第38回全国大会・2016年度国際学術大会報告》

東北支部支部長・第38回全国大会準備委員長 佐藤 和博

5月21日（土）、弘前学院大学を会場として、日本比較文化学会第38回全国大会、2016年度日本比較文化学会国際学術大会が開催されました。

当日は9:15から総会が開催された後、10時からシンポジウムが開かれました。「比較文化の方法論」というテーマで、高橋栄作先生（高崎経済大学准教授）の司会の下、各発表者による発表の後、活発な質疑応答がありました。昼食後、12:25から研究発表が開始されました。発表者は49名でした。遠くは韓国、台湾、マカオからの発表者もありました。司会をつとめた範囲では、発表後の質問も多く出され、有意義な時間を過ごしたように思われます。17時より、礼拝堂においてエドワード・フォーサイス先生（弘前学院大学准教授）による「日露外交の隠された側面」と題する講演がありました。日本とロシアとの意外な外交関係について知る機会となりました。18時から、学生食堂にて懇親会が開かれました。奥村会長先生のご挨拶の後、大変賑やかな集まりとなりました。余興として青森の各地域のお囃子の実演があり好評だったようです。参加した皆様の楽しそうな笑顔が忘れられません。遠くからご参加下さった会員の皆様、また協力して下さいました東北支部の皆様、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

《第39回全国大会・2017年度国際学術大会開催のお知らせ》

中部支部支部長・第39回全国大会準備委員長 澤田 敬人

以下の日程で第39回全国大会・2017年度国際学術大会が開催されます。

日時：2017年5月20日（土）9:15～

場所：静岡県立大学草薙キャンパス（〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1）

シンポジウムテーマ：「比較文化の今日的意義」

研究発表募集の告知やスケジュールなど詳細については、12月中旬にホームページでお知らせします。なお、研究発表募集はホームページのみでの告知となりますので、お見逃しのないようご注意ください。

《新役員》

副会長就任の挨拶

副会長（会務担当） 山内 信幸

このたび、2016年5月に第38回日本比較文化学会全国大会の臨時理事会におきまして、奥村訓代会長より副会長（会務担当）の指名を受けました山内信幸です。引き続き、よろしくお願い申し上げます。今後に向けては、学会としての国際通用性の担保と本部・支部活動の活性化が喫緊の課題であると認識しております。幸いにも、若い世代の先生方にもご協力いただける態勢作りも、少しずつではありますが、整いつつあり、本学会のさらに強固な基盤作りに汗をかいていく所存です。奥村会長のご指導の下、従来の本学会の堅持してきた古き良きところは残しつつも、21世紀に見合う、魅力的な学会へとさらに成長していくことを願っております。

副会長（国際交流担当） 佐藤 和博

このたび、奥村会長より副会長（国際交流担当）就任を要請され、喜んで引き受けることにいたしました。所属している大学においても、国際交流委員会の委員長として働いてきました。どこの大学でも、また本学会でも、国際化の動きは待った無しという状況です。本学会のさらなる国際化に向けて微力ながら全力で取り組んでまいります。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

副会長（学会誌・広報担当） 北林 利治

このたび、学会誌・広報誌担当副会長を拝命しました北林です。どうぞよろしくお願ひいたします。学会誌『比較文化研究』は、多様な学問的背景をもった会員の旺盛な執筆活動によって、比較文化学という独自の領域の確立に貢献してきました。一方で、学会が設立された当初の自由な意見の交換のサロンの場としての学会誌の役割も大切にしたいと思っております。編集委員会での議論を大切にしながら、副会長として、理事会と編集委員会のつながりをより緊密なものとして、日本比較文化学会らしい学会誌のスタイルを築き上げていきたいと思ひます。

副会長（研究・教育担当） 近藤 俊明

今年度より、研究担当副会長を拝命いたしました。私は、比較文化学は大変大きな可能性を持った学問領域であり、魅力のある世界であると信じております。文化は、私たちが人や物・環境と長い時間かけて形成してきたその関わり方のゆったりとして大きな、しかし、密接なパターンと言えるのではないかと思います。この文化を、今後どのように理解・形成してゆくかは、今後の世界の中心的な課題の一つであると思われまふ。本学会がその一翼を担うことが出来るような研究を、少しずつぜひ皆さんとともに進めていければと願っております。ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

《編集委員長挨拶》

編集委員長 北林 利治

このたび、編集委員長の2期目を拝命いたしました北林です。どうぞよろしくお願ひいたします。この間、投稿規程を整備して、学会誌の質の向上につとめてきました。また、5つの支部が担当している編集室の間の連絡をいっそう密にして、編集にあたっての連携を強化してきました。前編集委員長の野口周一先生が、その制定に力を注がれた「日本比較文化学会奨励賞」は、今年の大会では該当論文がありませんでした。今後、ぜひ、奨励賞にふさわしい若手研究者の論文がたくさん出現してくることを期待しています。『比較文化研究』編集委員会は、若い研究者からの投稿を大いに期待しています。『比較文化研究』の編集委員会を構成する各支部の編集責任者の先生方に感謝を申し上げますとともに、『比較文化研究』誌が会員のみなさんの生き生きとした議論の場となるよう、微力ながら尽力をいたす所存です。

《総会報告》

事務局長 藤岡 克則

5月21日（土）弘前学院大学にて開催した日本比較文化学会総会の議事録を以下に報告します。

1. **本部事務局報告**：(1)会員の動向：2016年5月16日付の全会員数は563名。(2)全国大会について：①第39回全国大会・2017年度国際学術大会に関する決定事項の報告。②今後の全国大会主催支部のローテーションは「関東→東北→中部→中国・四国→関西→九州」となる。

2. **編集委員会からの報告**：(1)新編集委員長：北林利治先生が再任。(2)「日本比較文化学会奨励賞」選考結果：本年度該当者なし。(3)学会誌編集活動に関わる非常時に関する申し合わせ：地震・津波・台風などの自然災害時に、編集担当支部の編集業務に支障をきたす場合は、会長の命を受け編集委員長が他支部の編集責任者とともに協議し対応する。(4)投稿規定改訂：2015年7月1日理事会承認済み改訂について再確認。また、新たな変更点である、投稿規程における「使用言語は、原則として、日本語あるいは英語とする」旨の項目追加が編集委員会・理事会にて了承された。

3. **広報委員会報告**：会報発送時期は毎年4月末及び10月末。全国大会の告知は、会報にて簡易版

を10月末に、ホームページにて詳細版を12月に掲載。

4. 各研究部会からの報告について：「多文化共生研究部会」部会長の交代。

5. 議事——(1)～(3)すべて承認された。

(1)2015年度会計決算 (2)2016年度会計予算 (3)会長選出：奥村訓代前会長が選出された。2期目。会長任期は2年。なお、新役員は以下の通り。

2016-2017年度 役員一覧 (敬称略)

【名誉会長】太田敬雄 【顧問】栗原靖、佐藤幸正、畠中康男、引地岳雄、市川郢康 【会長】奥村訓代 【副会長】山内信幸(会務担当)、佐藤和博(国際交流担当)、近藤俊明(研究・教育担当)、北林利治(学会誌・広報担当) 【理事】(総数24名、会長・副会長含む)澤田敬人、山下明昭、八尋春海、佐藤静、佐藤知条、川口雅也、砂川典子、伊藤豊、高橋強、安藤雅之、金志佳代子、弓削俊洋、山崎祐一、佐藤豊、長谷部陽一郎、神崎明坤、丸橋良雄、中村友紀、藤岡克則 【監事】玉井史絵、大岩英紀 【本部事務局】事務局長：藤岡克則、副事務局長：梶原雄(海外提携学会、ホームページ担当)、公文素子(会計担当)

事務局員：中村友紀(会報担当)、ニール・ヘファナン(英語圏会員担当)

各支部長、副支部長、及び、ハラスメント相談員 一覧

【東北支部】支部長：佐藤和博 副支部長：佐藤静 ハラスメント相談員：(男)佐藤和博 (女)鈴木敦子 【関東支部】支部長：近藤俊明 副支部長：花澤聖子、高山有紀、高橋強 ハラスメント相談員：(男)水島孝司 (女)三井真紀 【中部支部】支部長：澤田敬人 副支部長：川口雅也、安藤雅之、津村公博、白鳥絢也 ハラスメント相談員：(男)太田敬雄(女)杉本貴代 【関西支部】支部長：山内信幸 副支部長：丸橋良雄、北林利治、中村友紀 ハラスメント相談員：(男)北林利治(女)金志佳代子 【中国・四国支部】支部長：山下明昭 副支部長：弓削俊洋、梶原雄、藤岡克則 ハラスメント相談員：(男)奥村訓代(女)公文素子 【九州支部】支部長：八尋春海 副支部長：山崎祐一 ハラスメント相談員：(男)藤山和久(女)駄田井直子

各種委員会一覧

【編集委員会】委員長：北林利治 委員：佐藤静、鈴木宣行、金志佳代子、山下明昭、砂川典子 【広報委員会】委員長：中村友紀 委員：高橋栄作、高山有紀、白鳥絢也、三浦秀松、梶原雄、樋口真己 【研究部会の各部会長】国際文化研究部会：鈴木宣行 言語文化研究部会：山内信幸 多文化共生研究部会：奥村訓代 日本語日本文化研究部会：山下明昭 社会言語学研究会：北林利治 生活・文化研究部会：高山有紀

*2015-2016年度会計報告は、《事務局より》の次(p.8)に掲載しております。

《提携学会に関するニュース》

提携学会である台湾日本語文学会が、9月2日(金)に「平成28年度外務大臣賞」を受賞されました。台湾における日本語文学研究および日本語教育の発展への功績、また日台交流への貢献が称えられたものです。授賞式には、台湾日本語文学会の頼振南理事長が出席されました。提携学会として心よりお祝い申し上げます。

《支部報告》

東北支部

*【お知らせ】 関東支部及び東北支部合同大会

日時：2016年10月1日(土) 12:00～17:30

会場：東京未来大学本館 A棟

プログラム

1. 例会開会の挨拶 東北支部長 佐藤和博(弘前学院大学)

2. 研究発表

・第一会場司会：近藤俊明（東京未来大学）

- (1) 向野康江（茨城大学）「向野堅一編『誦雨寿言集』から考察する近代漢詩会の役割—筑豊地方における文人による人脈形成がもたらした経済活動情報—」
- (2) 庄司愛望（茨城大学大学院）「戦後の日本の盲図画工作教育方法論における青鳥会による『盲学校教育課程（小学部編）』と戦後の盲図画工作科教育に関する諸誌との比較」
- (3) 黒田潤子（足立区立青井小学校）「ドイツと日本における描画指導の比較」
- (4) 森崎巧一（森画廊）・大海 悠太（東京工芸大学）・小楠 竜也（早稲田大学国際情報通信研究センター）「ICT と印象評価を用いた美術鑑賞支援ツールの開発」
- (5) 山田秀平（茨城大学大学院）「大正期の子どもの絵に関する研究—啓助が取り組んだ 2 つの向野家家庭 教育実践の比較を通して—」
- (6) 皆川真理（茨城大学大学院）「大正期向野堅一家の回覧雑誌『骨肉』にみる異国情緒」
- (7) 金山愛奈（茨城大学大学院）「芸術教育論の今日的意義—岡本太郎と岸田劉生の比較を中心に—」

・第 2 会場司会：佐藤和博（弘前学院大学）

- (1) ウオント盛香織（甲南女子大学）「パンパンと戦争花嫁：二言説を紡ぐ試論」
- (2) 武富利亜（岐阜薬科大学）「カズオ・イシグロの *Never Let Me Go* に隠された日本性とは」
- (3) 張帥（明治大学大学院）「テレビ広告から見る日中文化の比較—オリンピック開催期間の広告を中心に—」
- (4) 板谷洋一郎（中央大学）「ペネロピ・ライヴリー作『リッチフィールドへの道』における記憶、アイデンティティ、"herstory"」
- (5) 川崎瑞穂（国立音楽大学）「天狗のトリックスター性—インドネシアのペトルとの比較分析を中心に—」
- (6) 高橋栄作（高崎経済大学）「Self-Access Language Learning の有効性について」
- (7) 木鎌耕一郎（八戸学院大学）「明治 36 年青森飢饉における外国人居留地の救護活動」

3. ワークショップ「印象評価サポートツール体験ワークショップ」—日本比較文化学会生活文化研究部会協賛— 森崎巧一（森画廊）、大海悠太（東京工芸大学）、小楠竜也（早稲田大学国際情報通信研究センター）

4. 例会閉会の挨拶 高山有紀（新島学園大学）

ご参加下さいました皆様に心よりお礼申し上げます。また、近藤俊明先生、郭潔蓉先生には、大変お世話になりました。ありがとうございました。

支部長 佐藤 和博

関東支部

*【報告】 関東支部例会

日時：2016年3月16日（土）13:00～17:30

場所：東京未来大学本館

プログラム

1. 例会開会の挨拶 関東支部長 近藤俊明（東京未来大学）

2. 研究発表

- (1) 高橋強（東海大学）「基礎英語リメディアル教育と国際理解：教員の役割について」
- (2) 李尚珍（山梨英和大学）「朝鮮美術展覧会における「郷土色」に関する一考察」

- (3) 小林竜一（早稲田大学国際言語文化研究所）「畔上賢造における異文化接触」
 (4) 森崎巧一（湘北短期大学）「教育内容の違いが及ぼす印象評価への影響—絵本表紙絵の印象評価を手がかりに—」
 (5) 高山有紀（新島学園短期大学）「寺院法会にみる神」
 3. 例会閉会の挨拶 高山有紀（新島学園大学）

*【報告】 関東支部総会

日時：2016年3月16日（土）13:00~17:00

場所：東京未来大学 会議室1

2015年度関東支部総会

1. 総会開会の辞：議長 近藤俊明（東京未来大学）
2. 2015年度会計報告：関東支部事務局長 郭潔蓉（東京未来大学）
3. 2016年度人事、活動計画：関東支部長 近藤俊明（東京未来大学）
5. 総会閉会の辞：近藤俊明（東京未来大学）

支部長 近藤 俊明

中部支部

*【報告】 第9回支部大会および平成28年度第2回支部役員会

日時：2016年9月25日（日）13:00~16:30

場所：浜松学院大学布橋キャンパス1号館1101教室

プログラム

1. 研究発表

- (1) 澤田敬人（静岡県立大学）「オーストラリア高等教育政策におけるオーストラリアンスタディー—新連邦主義と新自由主義のはざまのナショナリズム」
- (2) 白鳥絢也（常葉大学）・津村公博（浜松学院大学）・澤田敬人（静岡県立大学）「国際化社会に生きる青少年の共生を目指した教材モデルの開発に関する研究」
- (3) 安藤雅之（常葉大学教職大学院）「カンボジアの小学校教員養成カリキュラムに関する考察」

2. 支部役員会（オブザーバー参加あり）

議題：(1) 新会員について (2) 中部支部例会（平成29年2月または3月）の開催について (3) 第39回全国大会国際学術大会の開催（平成29年5月20日）について (4) 学会誌の編集について (5) 今後のあり方について その他

支部長 澤田 敬人

関西支部

*【報告】 2016年度10月例会

日時：2016年10月1日14:30~17:00

会場：同志社大学今出川キャンパス 良心館406番教室

プログラム

1. 研究発表

- (1) 邱旭元（京都大学大学院）
「日本語と中国語の四字熟語に関する意味的研究」
- (2) 李増先（立命館大学衣笠総合研究機構）
「ロックハートコレクションの謎：林&コーニツキー目録の再検討」

2. 講演

田田野 彰 先生(京都大学 国際高等教育院附属国際学術言語教育センター 教授)

「これからの英語教育を考える—初等教育から高等教育まで—」

*【お知らせ】関西・中国四国・九州三支部合同研究会、及び、関東・中部・関西支部合同研究会の合同開催

日時：2016年12月3日(土) 14:00~17:00(予定)

場所：同志社大学今出川キャンパス

支部長 山内 信幸

中・四国支部

*【お知らせ】

以下の大会に、中・四国支部の会員が参加致します。

1. 12月3日(土) 日本比較文化学会 中・四国、九州、関西3支部大会(同志社大学)
2. 12月17日(土) 台湾日本語文学会(台湾)

*【お知らせ】

2017年3月に中・四国支部大会を開催予定です。場所、日程は後日お知らせします。

支部長 山下 明昭

九州支部

*【お知らせ】第29回九州支部大会

日時：2017年3月4日(土) 13:00~

会場：九州情報大学(福岡県太宰府市)

懇親会：4,000円(予約不要)

発表申し込み：氏名、所属、発表タイトル、発表要旨(200字~800字)を記入の上、
yahiro[アットマーク]seinan-jo.ac.jp に2017年2月末日までにお申込みください。

ふるってご応募ください。他支部の会員のご発表もいつも大歓迎でお迎えております。

支部長 八尋 春海

《事務局より》

事務局長 藤岡 克則

○会費納入のお願い いつも会費納入にご協力いただき誠に有難うございます。従来より、一般会員は2年、学生会員は1年を超えて未納の場合には、会員資格を失うこと(除籍)になっております。ご注意ください。 会費に関するご質問等ございましたら、学会ウェブサイト

(<http://hikakubunka.jp>)の「お問い合わせ」ページより事務局会計担当までお問い合わせください。

会費納入の郵便振替口座番号は以下の通りです。詳しい情報は上記ウェブサイトをご覧ください。

＜本部会費 振込情報＞ **ゆうちょ銀行振替口座**

口座番号: 02570-6-8921 加入者名: 日本比較文化学会

他金融機関からの振込用口座番号: 二五九(ニゴキユウ)店(259) 当座 0008921

＜年会費＞***一般会員:5,000円(大学院生を含む)*****学生会員:3,000円(学部生)**

*賛助会員:一口10,000円(1口以上)

注意点: 1) 振り込みの際には、所属支部と何年度分の会費であるかを明記してください。

2) 最近、本部会費と支部会費の混同並びに誤送金が増えております。以下の点を再度ご確認ください、お間違いのないようお願い申し上げます。

①「本部会費」と「支部会費」の振込先および金額は異なります。本部では、本部会費のみの取り

扱いとなります。②「支部会費」に関しましては、各支部にお問い合わせください。

3) 論文投稿をご希望の場合、年会費納入済が条件となっております。論文投稿希望者の年会費納入確認は、各担当支部(3月末・6月末・8月末・10月末・12月末)の編集委員長が行っておりますので、論文投稿される際の年会費納入確認は論文提出担当支部長にご連絡いただきますようお願い致します。

○会員情報更新のお願い 住所不明により学会誌や会報をお届けできない会員の方がいらっしゃいます。就職・転勤等によるお引越の際には、お忘れなく会員調査書に新情報をご記入の上、下記アドレスまでお送りください。なお会員調査書は学会ウェブサイトよりダウンロードしていただけます。

<日本比較文化学会ウェブサイト入会・会員情報変更> http://hikakubunka.jp/?page_id=97

<入会申込書・会員調査書送付先> あゆみコーポレーション(業務委託先) hikakubunka@a-youme.jp

《2015年度決算・2016年度予算報告》

2015年度日本比較文化学会 決算			2016年度日本比較文化学会 予算		
科 目	2015年度予算	2015年度決算	科 目	2016年度予算	摘要
I 収入の部			I 収入の部		
1、資産運用収入			1、資産運用収入		
利子	2,000	88	利子	2,000	
2、会費収入			2、会費収入		
一般会員	2,450,000	2,448,000	一般会員	2,450,000	
賛助会員	20,000	0	賛助会員	10,000	
3、事業収入			3、事業収入		
『比較文化研究』配布収入	10,000	0	『比較文化研究』配布収入	10,000	
4、寄付収入			4、寄付収入		
寄付収入	0	0	寄付収入	0	
5、その他	0	0	5、その他	0	
当期収入合計(A)	2,482,000	2,448,088	当期収入合計(A)	2,472,000	
II 支出の部			II 支出の部		
1、大会開催関連費			1、大会開催関連費		
第37回大会費	300,000	300,000	第38回大会費	300,000	
第37回大会・海外会員補助	50,000	50,000	第38回大会・海外会員補助	50,000	
2、支部運営補助費			2、支部運営補助費		
支部運営補助費	60,000	60,000	支部運営補助費	60,000	10,000円×6支部
3、『研究』発行費			3、『研究』発行費		
編集補助費	500,000	500,000	編集補助費	600,000	
発送費	800,000	756,297	発送費	800,000	外部委託による発送作業費を含む
4、会員活動補助費			4、会員活動補助費		
若手研究者海外渡航費補助	100,000	0	若手研究者海外渡航費補助	150,000	
5、提携学会交流費	100,000	123,236	5、提携学会交流費	100,000	
6、管理費			6、管理費		
事務局費	85,000	110,093	事務局費	150,000	
交通費	50,000	74,870	交通費	50,000	
通信費	10,000	1,000	通信費	10,000	
業務委託費	380,000	355,568	業務委託費	380,000	
会議費	100,000	17,988	会議費	100,000	
印刷費	50,000	0	印刷費	50,000	
HP管理維持費	50,000	33,000	HP管理維持費	50,000	
『会報』編集補助	25,000	68,105	『会報』編集補助	25,000	
手数料(振込み等)	35,000	38,146	手数料(振込み等)	35,000	
7、予備費	100,000	0	7、予備費	100,000	
当期支出合計(B)	2,795,000	2,488,303	当期支出合計(B)	3,010,000	
当期収支差額(A)-(B)	-313,000	-40,215	当期収支差額(A)-(B)	-538,000	
前期繰越額(C)	3,604,373	3,604,373	前期繰越額(C)	3,564,158	
次期繰越額(A)-(B)+(C)	3,291,373	3,564,158	次期繰越額(A)-(B)+(C)	3,026,158	